

奈良きたまちインターカレッジコンペティション 2022 実施報告書



事業名：奈良きたまちインターカレッジコンペティション 2022

開催期間：令和4年4月16日（土）から8月9日（火）

4月16日（土）13：00-17：00／オリエンテーション・まち歩き

4月～6月：各大学での授業・現地調査・ヒアリング

6月4日（土）10：00-12：00／主催者オンライン会議・地元調査調整

7月～8月：各大学での授業・現地調査・ヒアリング

成果発表会（奈良きたまちインターカレッジコンペティション 2022）

日時：令和4年8月9日（火）13：00～16：30

場所：奈良公園バスターミナル レクチャーホール

参加人数：合計100人（発表学生5大学41人、一般来場者28人、関係者23人、審査員8人）

審査員：審査員長 奈良女子大学・京都大学名誉教授 増井 正哉 教授

大阪地区自治連合会 有山 行基 副会長

佐保地区自治連合会 岡崎 忠直 会長

なべかつ 八木 富造 会長

てんかつ 横田 利孝 副会長

きたまちコンセント 鳥居 寛司さん

奈良市 観光経済部 仲西 範嘉 部長

総合政策部 秘書広報課 川畑 理絵 課長補佐

主催・共催：畿央大学

奈良女子大学生生活環境学部住環境学科

奈良県立大学

天理大学生涯教育専攻

同志社女子大学生活科学部人間生活学科都市空間研究室

鍋屋連絡所の保存・活用と“奈良きたまち”のまちづくりを考える会（なべかつ）

転害門前旧銀行建物活用協議会（てんかつ）

きたまち Consent

奈良市

事業協力者： 鼓阪地区自治連合会、佐保地区自治連合会、手貝町自治会、なべかつ会員、てんかつ会員、きたまち Consent 会員、アトリエぶらりすけっち、住まいの裕、工場跡事務室、念聲寺、まほろし、ミジンコブンコ、その他奈良きたまちエリアに居住される個人の方数名、奈良市秘書広報課、奈良市教育委員会文化財課
(順不同・敬称略)

審査結果

最優秀賞（1位） 奈良県立大学 3年 きたまち景観探検隊
「きたまちを魅せる滞留空間の創出」

優秀賞（2位） 奈良県立大学 2年 spicyノ
「カレーで華麗なまちおこし」

各部門賞（上位2チーム以外のチームより各審査員が選定）

鼓阪地区自治連合会賞

畿央大学 2年 きたまちパーキングマーケット
「駐車場をコミュニティの場に」

佐保地区自治連合会賞

畿央大学 2年 チームあぼろ
「きたまち物語」

なべかつ賞

天理大学 3年 未来の社会教育士チーム
「地域の魅力にせまるメディアの創出 ―語る・つながる「きたまちプリズム」―」

てんかつ賞

畿央大学 2年 仲良し4人組
「新しい居場所のカタチ」

きたまちコンセント賞

同志社女子大学 3年 都市空間研究室チーム
「ずっと住み続けられる街へ ～ナイト・マーケション・プレイス～」

奈良市賞

奈良女子大学 4年 チーム奈良女
「町家ミライ構想 20XX」

特別賞（来場者投票1位）

奈良県立大学 きたまち景観探検隊



4/16 オリエンテーション・まち歩き



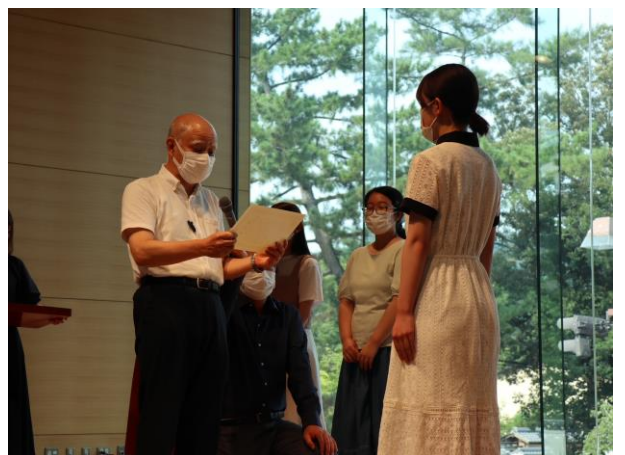
大学での調査・6/4 中間発表のようす



8/9 成果発表会（主催者挨拶・審査の様子）



8/9 成果発表会（学生発表・表彰の様子）

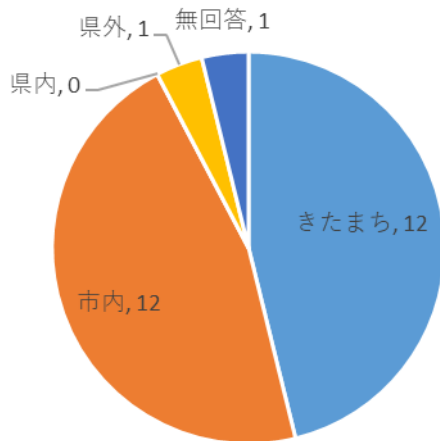


来場者アンケート結果

回答数 26 人

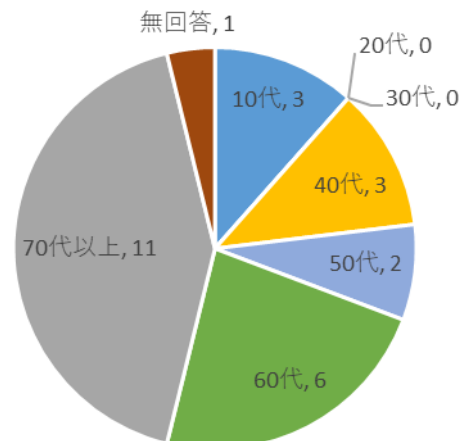
設問1 あなたのお住まいはどちらですか。

- 1、きたまちエリア（近鉄奈良駅以北の旧市街地）
2、奈良市内 3、奈良県内 4、奈良県外
（回答者数 25 人）



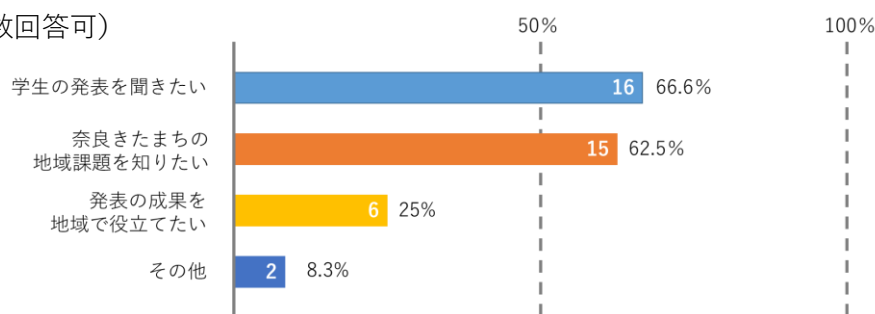
設問2 あなたの年齢を教えてください。

- 1、10代 2、20代 3、30代 4、40代
5、50代 6、60代 7、70代以上
（回答者数 25 人）



設問3 来場の目的を教えてください。（複数回答可）

- 1、学生の発表を聞きたい
2、奈良きたまちの地域課題を知りたい
3、発表の成果を地域で役立てたい
4、その他
（回答者数 24 人）



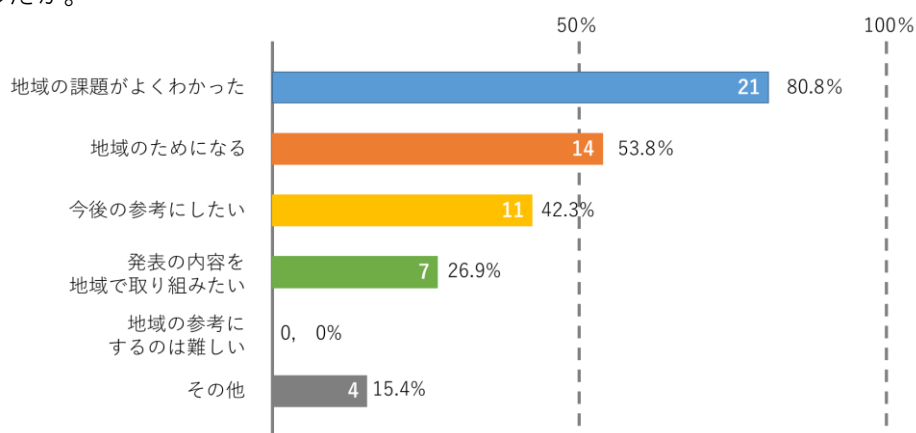
その他（自由記述）

- ・ほかの地域でも役立てることがあれば参考にしたいと思った
- ・来年4月に大学に進学する息子の志望学部が地域研究学なので一緒に参加した

設問4 学生の発表についてどう思いましたか。

（複数回答可）

- 1、地域の課題がよくわかった
2、地域のためになる
3、今後の参考にしたい
4、発表の内容を地域で取り組みたい
5、地域の参考にするのは難しい
6、その他
（回答者数 26 人）



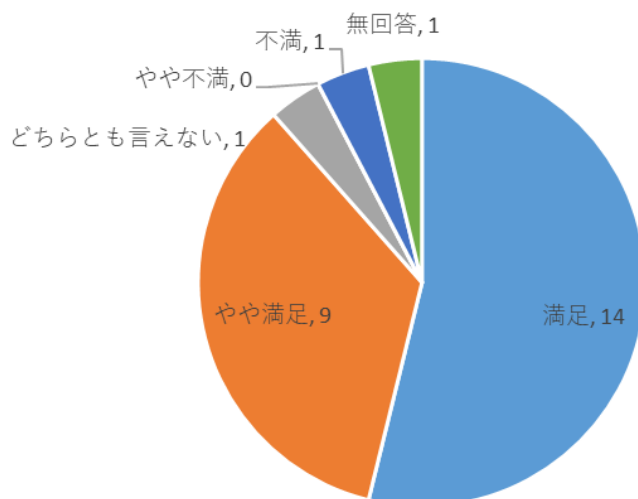
その他（自由記述）

- ・発表で終わらず、ぜひ色々な大人をまきこみ学生同士つながり、実現に向けて動いてほしい
- ・ユニークな取り組みで学生さんたちも一生懸命に考えて発表されているのがよく伝わりました
- ・カレーの発表はすでに9/9-15の種々カレー帳でイベント実施されると思います、カレーパスポート等もあります
- ・若い人の着眼点と感性は絶対必要

設問 5 学生が地域課題に取り組み、その成果を発表するこの企画についてどう思いますか。

1、満足 2、やや満足 3、どちらとも言えない 4、やや不満 5、不満

(回答者数 25 人)



理由（自由記述）

「満足」を選んだ方の理由

- ・今後どの世代も避けて通れない課題
- ・やはり同じ土地に住む人々にとって意見は広く交流することが大事だと思ったから
- ・時代の流れでいろいろの問題点がよくわかりました、ご苦労様でした
- ・やはり人と人とのつながり無くしては何も続いていけないと思うので、授業であっても地域とつながるきっかけとなると思うので
- ・地域に密着した研究は現実的で地域活性化につながり地域貢献できている

「やや満足」を選んだ方の理由

- ・若者が地域に関心を持って考えてくれる機会が地域のために必要と思いました。都会にばかり目を向けなくて地元にも素敵な地域があると発見してもらえると有難いです
- ・学生が奈良在住 4 年間に考えたことであるが、継続性が無ければと思う
- ・せっかく様々なリソースをもつ大人が集まっているので、プラン実現に向けてスポンサーになったらいい
- ・「構想をつくった」というところを「成果」とできるかが難しい、中間発表としては 100 点だと思う

「不満」を選んだ方の理由

- ・学生さんの視点ではいろいろな捉え方が面白いと思った

設問 6 来年度に取り組んでほしいと思う地域課題（どの地域でどのような課題があると感じているか、など）があれば教えてください。（自由記述）

- ・きたまちを住みやすい町にするため、若者（大学生）にいろいろなアイデアを出してほしい
- ・若者の定住や活動促進
- ・高齢化に伴い、人口減、空き地の増加、特にビックなら、イソカワ等のスーパーがなくなり、地域住民は買物（食料）難民を特に感じている

<以下、感想>

- ・実現するかどうかは別として、実現することも含め考えていることに感心します
- ・学生が自分の足で歩いて、問題を導き出し解決して具体的に取り組むのは素晴らしい。これを機会に、学生たちに「きたまち応援団」になってほしい
- ・奈良市街地はマンションが多く税収が期待できない、町が豊かになるにはまず「金」軍資金稼ぎを考える